

令和 2年11月25日 (水)

問合せ

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

電話 0126-62-3132 ・内線 2722

担当 谷川 毅

## 東明駅舎・4110形式十輪連結タンク機関車2号 のクラウドファンディングについて

美唄市教育委員会で実施している、日本遺産の構成文化財である「東明駅舎」・「4110形式十輪連結タンク機関車2号」のガバメントクラウドファンディングについて、支援者が100人を超えました。

さらに多くの方へ、実施中であることをご案内いたします。

### 1 とき

令和2年12月10日(木)まで 実施中

### 2 登録サイト

READYFOR (レディーフォー)

### 3 プロジェクト名・プロジェクトサイト

「日本遺産認定の東明駅舎と

貴重なE型機関車を守りたい」

[https://readyfor.jp/projects/bibai\\_toumei\\_4110](https://readyfor.jp/projects/bibai_toumei_4110)



### 4 目標額

11,800,000円

なお、目標に達しない場合でも寄附の全額を受け取りさせていただき、令和3年度に駅舎とSLの修繕を行います。

### 5 その他

- ・申し込みいただいた方は、ふるさと納税に対応した税控除が受けられます。
- ・返礼品として、2号などのマークが入ったお名前プレートを敷地に表示します。
- ・市外の方は、お名前プレートのほか、美唄産のお米やとりめしセット、焼き鳥セットなどを選ぶこともできます。



### ○「東明駅舎」

大正・昭和時代に、美唄の東部地域から主に石炭を運んでいた私鉄「美唄鉄道」の唯一現存する駅舎。昭和 23(1948)年から昭和 47(1972)年まで営業。令和元(2019)年5月に日本遺産の構成文化財に認定される。

老朽化が進んでおり、屋根や外壁などの修繕が必要。本クラウドファンディングでは、屋根修繕を目標としている。

### ○「4110 形式十輪連結タンク機関車 2 号」

大正 8 (1919) 年に、三菱の神戸造船所で同社の第 1 号として製造された蒸気機関車で、現在、国内で唯一見学可能な車輛。ドイツの 4100 型を基にしており、急こう配を(美唄鉄道は最大斜度 25 パーミル)登ることができた。美唄鉄道では、E 型を同時に最大 7 両使用していた。5 月から 10 月は、外観や運転席を自由に見学できるが、11 月から 4 月は、保存のためカバーをかけている。



老朽化が進んでおり、本クラウドファンディングでは、車体の静態保存するため、全体塗装や冬期保存用の保護シート、運転室内の修繕を目標としている。

○令和 2 年 1 1 月 2 4 日 9 時現在

1 1 6 人 1, 1 6 0, 0 0 0 円 の支援をいただいた。

○目標額に達しない場合、金額に合わせて修繕内容を検討する。

(寄附は、すべて駅舎と S L の修繕に充て、その他の用途では使用しない)

○寄附者のうち、約 6 割の方がプレートを選択している (1 1 月 2 4 日現在)。

○名前プレートには、当時走行していた S L のナンバーを記載できるようにしている。

「2」、「3」、「4」、「4122」、「4137」、「4142」、「4144」より選択可能